



# 青パトが10周年 犯罪件数の減少に貢献

圏市民協働課 ☎70・5687

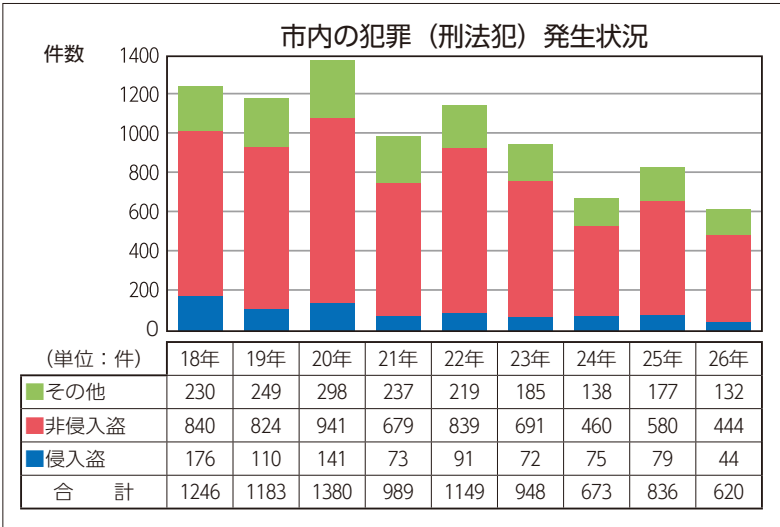
白と黒のツートンカラーで青色回転灯を装備した自動車(青パト)が、巡回しているところを見つけたことはありませんか。青色防犯パトロールといい、自治会から推薦された方が市の非常勤職員となり、自治会や女性防犯会と一緒に、各地域を巡回しています。

平成17年12月から始まった同パトロール事業は、昨年12月で10周年を迎えました。現在、28人が交代で青パトに勤務し、市内を巡回しながら、不審者などに目を光らせています。同パトロールの開始当初から乗務する原忠夫さん(写真右)は、「自治会の役員をしていて地域活動や防犯に関心が高かったこともあり、乗務を始めました。市内の犯罪件数が、ここ数年減ってきており、青パトで巡回している効果が大き



いのではないかと考えています」と10年間の成果を振り返ります。

平成18年から乗務する比留川國雄さん(左)は、「子どもたちから『青パトのおじさん』と声を掛けられることがあります。こうした地域の方たちとのふれあいも、防犯対策につながっているのではないのでしょうか」と地域との関係性を話します。



## 安全・安心相談で 自宅の防犯診断も

毎週月・火・木・金曜日9時～15時45分(市役所の閉庁日を除く)、市民協働課窓口で安全・安心相談を行っています。防犯や交通安全に関する相談に、豊富な知識と経験を持つ警察官のOBが応じます。

地域や団体などを対象にした「防犯講演会」の講師や、自宅を訪問しての「住宅防犯診断」も行っているため、希望する方は相談してください。



た。これまでの蛍光灯に比べて明るく、夜間の犯罪を防ぐ効果が期待できます。電球切れが少なく長寿命で、消費電力も抑えられるため、電気料金や電球の交換費用も大幅に削減できます。節電効果による二酸化炭素の排出量削減など、環境への負荷を低減することもできます。防犯灯の管理を今までは、各

市内にある約7000灯の防犯灯を、昨年12月までにLED灯へ切り替えまし

らうことだと思えます」と地域防犯の大切さを強調します。

## より明るく安全なまちに 防犯灯をLED化、節電効果も

地道でひたむきな青パトの活動が、皆さんと地域、さらにはまちの安全を守っています。

自治会が行っていましたが、LED灯への切り替えに伴い、今後は市が行います。

夜間に点灯しない防犯灯を見つけたら、灯具の隣にある黄色いプレートの番号を確認の上、同課へ知らせてください。



用にあたっては、敷地内や建物に映らないように配慮するなど、プライバシーの保護を徹底し、撮影と記録は犯罪防止に必要な最低限の範囲とします。

## 未然に防ぐため確認や見直しを

自宅の周りの防犯対策を確認し、日頃の行動を見直すことで、身の回りで起こる犯罪を未然に防ぎましょう。

- 侵入盗被害の防止
  - ▶道路から敷地内の見通しを良くする
  - ▶脚立やビールケースなど侵入しやすい物を敷地内に置かない
  - ▶ドアや窓の鍵は二重で掛ける
- 自転車盗被害の防止
  - ▶短時間でも自転車から離れるときには鍵を掛ける
  - ▶自転車防犯登録をする
- ひったくりの防止
  - ▶歩行は車道と反対側にバックを持つ
  - ▶自転車の前かごに防犯ネットやカバーをつける
  - ▶人通りの多い明るい道を通る

